

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 84

2014年12月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、福田充宏先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内
2. 第2回HEPTコンソーシアムフォーラムのお知らせ
3. 静岡大学・中日新聞連載講座「浜松発！未来の社会」ご案内
4. 「技術・マーケティング相談会in藤枝」に出展します
5. 「ふじのくに総合食品開発展2015」に出展します
6. 浜松RAIN房講演会「植物って、すごい！」ご案内
7. 「医療機器リスクマネジメント入門-ISO 14971-」セミナーのご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内
http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001995.html

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では、静岡大学発ベンチャー企業の育成と支援、大学シーズの活用を希望する地域企業とのマッチング支援等を行っております。

そうした中、静大発のベンチャー企業の育成支援の一環として、浜松キャンパス（静岡県浜松市中区城北3-5-1）に所属する教員の研究シーズを活用した事業化や教員の研究シーズを利用した地域企業や学生等による事業化準備を対象としたインキュベーションルームの2015年度入居申込み受付を開始しましたので、ご案内します。

募集するインキュベーションルームには、40平米の実験室タイプ9室と、21平米のオフィスタイプ5室があります。

原則として利用期間は1年間ですが、起業化計画の進捗度に応じて最大で3年間の継続利用も可能です。

インキュベーションルームの使用料は、原則『無料』です。
(水道光熱費・通信費については実費ご負担いただきます)

イノベーション社会連携推進機構産学連携推進部門では、インキュベーション施設の入居者に対して事業化に向けたビジネスプランのブラッシュアップ、資金計画、販路開拓等について積極的にバックアップさせていただきますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

詳細（募集要項と申請書）

http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001995.html

提出期限 2015年1月31日（土）

※現在入居中の方も、入居3年未満であれば来年度の継続利用申し込みができますが、その場合も利用申請書は提出していただきます。

問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
産学連携推進部門 部門長 教授 林正浩

2. 第2回HEPTコンソーシアムフォーラムのお知らせ

組込みソフトウェア技術コンソーシアム（HEPTコンソーシアム）は、地域産業の組み込み開発技術の向上に寄与することを目的として、2013年1月29日に設立いたしました。従来からの「組込みシステムアーキテクト養成プログラム」、「Cプログラミングコース」、「組込みソフトウェア技術研究会」などの活動に加えて、本年度は静岡情報産業協会（SIIA）と協力して「Javaプログラミング研修会」などの新たな活動も手がけることができました。

皆様から多数のご参加を頂きまして、たいへん活発な活動となっております。

このたびHEPTコンソーシアム設立2周年を記念し、第2回HEPTコンソーシアムフォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、発展する組込みシステム技術の今後と将来への対応を考えながら、HEPTコンソーシアムの取組みがどのように地域製造業の高度化を担う皆様のお役に立っているかを一緒に考えていただく機会といたしたく存じます。

【日時】 2015年1月28日（水）15:00～18:00（開場：14:30）

【場所】 プレスタワー17F 静岡新聞ホール

【主催】 浜松市

組込みソフトウェア技術コンソーシアム

国立大学法人静岡大学

公益財団法人浜松科学技術研究振興会

【後援（予定）】 関東経済産業局

中部経済産業局

浜松商工会議所

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

浜松信用金庫

磐田信用金庫

【ご案内Webページ】 <http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/hept/forum/2ndforum>

〔基調講演〕

「ボーカロイドの過去・現在・未来：初音ミクを支える技術とソフトウェア環境」
ヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+推進室 VOCALOIDプロジェクト
プロジェクトリーダー 剣持秀紀 氏

〔講演〕

「企業における組込みシステムアーキテクト養成プログラムの効果」
ローランド ディー・ジー株式会社 R&D本部研究部研究グループ 小林光一 氏
株式会社ユニバンス 商品開発部 制御設計グループ 今村泰己 氏
株式会社エヌエスティー システム開発部 ソフトウェア開発室 第3グループ
サブリーダー 上村哲生 氏

※ 交流会（18:30～20:30 銀座ライオンに移動し実施いたします）

参加費：無料（ただし交流会費 4,000 円）

お申込み締切日：1月21日（水）

お申込み方法：以下のURLより、フォーラム／交流会の参加をお申込み下さい。

フォーラム参加申し込みページ（Google Formを利用しています）

<http://goo.gl/forms/mQXntXmnj8>

3. 静岡大学・中日新聞連載講座「浜松発！未来の社会」ご案内

しずだい産学連携メールマガジンVol184

日時 第4回：2015年1月10日（土） 14:00～16:00
第5回：2015年2月14日（土） 14:00～16:00

会場 静岡大学浜松キャンパス 工学部5号館システム工学科棟2階21教室
（浜松市中区城北3-5-1）

主催 国立大学法人静岡大学、中日新聞東海本社

テーマ
第4回「新たな学び方 ～知識創造型の教育への転換～」
大学院情報学研究科 教授 大島 純
第5回「光でがんを勝つ ～低侵襲がん光治療～」
大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 准教授 平川 和貴

参加費 無料

定員 100名

詳細 <http://Lc.shizuoka.ac.jp/>

問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 連携講座係
TEL 054-238-4817 FAX 054-238-4295
E-mail [LLC\[at\]ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:LLC[at]ipc.shizuoka.ac.jp)

申込先 ウェブサイト <http://Lc.shizuoka.ac.jp/>
FAX 054-238-4295
メール [LLC\[at\]entry.Lc.shizuoka.ac.jp](mailto:LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp)
葉書 〒422-8529
静岡市駿河区大谷836

4. 「技術・マーケティング相談会 in 藤枝」に出展します

静岡県中部地域における食品・医薬品・化成品産業の集積化を目指す静岡フーズサイエンスヒルズ推進事業では、県内各地で相談会を実施しています。今回は、藤枝市で開催しますので、静岡大学との産学連携を検討されている近隣企業等の皆さまは、ぜひこの機会にお立ち寄りください。

日時 2015年1月19日（月）10:00～16:00

会場 藤枝市役所 西館 5階 大会議室
静岡大学の相談対応
分野：食品・バイオサイエンス・健康など
担当：イノベーション社会連携推進機構
コーディネーター 橋詰 俊彦

詳細 <http://www2.ric-shizuoka.or.jp/fsh/news/141112.html>

静岡大学の問合せ
イノベーション社会連携推進機構 静岡オフィス
TEL 054-238-4630

5. 「ふじのくに総合食品開発展2015」に出展します

本展示会は、静岡県産の農林水産物や加工食品の販路開拓や生産者と加工業者、食品機械メーカーなどのマッチングを進めることによって、6次産業化の推進を進めています。静岡大学との産学連携をご検討の皆さまは、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。

日時 2015年1月21日（水）10:00～17:00

会場 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 1階大ホール「海」

静大ブース

番号 U-2

担当 イノベーション社会連携推進機構 コーディネーター 橋詰俊彦
大学研究成果発表
「ミカンのβ-クリプトキサンチンの高含有化」
静岡大学大学院 農学研究科 教授 加藤 雅也

静岡大学の問合先

イノベーション社会連携推進機構 静岡オフィス
TEL 054-238-4630

6. 浜松RAIN房講演会「植物って、すごい！」ご案内

1月24日に、浜松RAIN房講演会「植物たちは、すごい！」が開催されます。
植物たちの生き方は、思いがけない知恵や工夫に満ちています。そんな植物たちの
生き方を学べば、まわりの植物たちがますます生き生きと、いとおしく感じられるで
しょう。
本講演は、身近な草花や樹木、野菜や果物たちを主役に、知っているようで知らない
植物たちのふしぎな世界へのいざないです。
NHKラジオ「夏休み 子供科学電話相談」でもおなじみの田中 修先生が、わたし
たち動物にはまねのできない、植物の“すごさ”を楽しく解説していただきます。
ぜひお越しください。

【内 容】「植物って、すごい」

講師：甲南大学理工学部教授 田中 修 氏

【日 時】2015年1月24日（土）

14：00～15：30（13：30開場）

【会 場】静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
（〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1）

【対 象】小学生以上～一般

【聴講料】無料

【定 員】150名（先着順）

【主 催】浜松RAIN房、静岡大学教育学部附属浜松中学校 Top Gun

【申込・お問い合わせ先】浜松RAIN（レイン）房

TEL&FAX 053-478-1759

E-mail trainbow[at]ipc.shizuoka.ac.jp

URL http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/

7. 「医療機器リスクマネジメント入門-ISO 14971-」セミナーのご案内

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構では、一般財団法人日本品質
保証機構（JQA）から講師を迎え、標記のセミナーを開催いたします。
今回は、入門編として、医療機器のリスクマネジメントの概要を理解して
いただくために本セミナーを企画いたしました。
この機会に是非参加をご検討ください。

日 時 : 2014年12月18日(木) 13:20～16:45 (受付開始13:00)

会 場 : アクトシティ浜松 研修交流センター 401会議室

参加料 : 無料(※受講後のアンケート回答が条件)

定 員 : 40名

主 催 : 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

共 催 : はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業、浜松商工会議所

後 援 : 豊橋商工会議所、東三河産業創出協議会

運 営 : 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

問合先 : 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

▼詳細はこちらのHPを ご覧ください。▼
<http://www.haipro.jp/news/?p=455>

《 みんなのコラム -78- 》

記：工学研究科 機械工学専攻 教授 福田充宏

現在私たちの生活には冷蔵庫やエアコンのような冷凍空調装置が不可欠であり、一般家庭で使用される電気エネルギーの約1/3（ヒートポンプ給湯機を含めればそれ以上）がそれらの機器によって消費されている。

私たちの研究室では、冷凍空調サイクルの心臓部である冷媒圧縮機を対象に、圧縮特性、潤滑特性、流動特性を解明したり、冷凍サイクル内に適用可能なさまざまな計測方法を開発することにより、冷凍空調サイクルの効率改善や信頼性向上を目的として研究を行っている。

冷媒圧縮機を研究対象としている大学の研究室は世界でも限られた数しかないが、冷媒圧縮機に関する研究が大学でほとんど行われない理由は、冷媒圧縮機に関する経験がある程度必要であることとともに、冷媒圧縮機内の現象が複雑で、アカデミックな研究対象になりにくいことにある。

冷媒圧縮機内の現象を複雑にしている要因は、圧縮機の潤滑に必要な油の存在であり、油には冷媒が溶け込んでその物性値および流動特性や潤滑特性が大きく影響される。私たちは、油の影響を考慮しつつ、いかに複雑な現象を簡潔なモデルで表すか、また、複雑な現象の中から狙いとした現象およびその影響をいかに明らかにするか、そして油と冷媒の混合物の物性値をいかに測定するか、等について独自の切り口で取り組んでいる。

基本的には実験系の研究室であり、実験目的に合わせて学生自身が実験装置を設計し、製作する場合はほとんどであり、ものづくりの経験の乏しい学生にはよい経験となっている。修士課程の約2/3の修了生が冷凍空調分野の主要メーカーに就職しており、これらのメーカーから毎年研究室指定で求人があることは、卒業・修了生がそれぞれのメーカーでがんばっている証拠であり、大変ありがたいことであると感謝している。

平成25年度より本澤助教とともに研究を進めており、彼の専門である機能性流体を、冷凍空調分野に応用する研究にも取り組み始めている。冷凍空調技術は古い技術ではあるが、自動車エンジンの燃費がここ数年で大きく向上したように、今後もさらなる発展が期待され、またそれに貢献していきたいと考えている。

また、機能性流体に関する研究を機に、冷凍空調以外の分野にも研究対象を拡大していきたい。

<< 編集後記 >>

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では、今年度採択された文部科学省「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業（COI ビジョン対話プログラム）」の一環で、ワークショップを行いました。

10月の1回目は、静岡大学教育学部附属浜松小学校の児童15名が参加

しずだい産学連携メールマガジンVol184

して、「みんなが大人になった時、どういう街に住んでみたい？」
「沢山の人が暮らせる理想の街って？」をテーマに、グループディスカ
ッションをしました。小学生が思い描く「理想の街」が、レゴブロック
やモールに絵も加わった4つの素敵な作品になって完成しました。

11月の2回目は、静岡大学の情報学部と工学部の学部生、大学院生と、
地域企業などの本事業コアメンバーが、第1回のアイデアを受けて、そ
の実現性や必要性などを検証。よりインパクトのある提案を抽出し、
それぞれの専門的知識を活かして様々な観点から議論しました。

今月の最終回を経て、年度内には、社会実装に向けたシナリオ作りを
行う予定です。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
編集：原典子
発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1414
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright (c) 2008-2014
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved